

635人「知識と経験積み上げよ」

平成十八年度金沢学院大学大学院、金沢学院大学、金沢学院短期大学の合同入学式は四月七日、第一体育館で行われ、新しく設置された経営情報学部の三学科、短大専攻科をはじめ合わせて六百三十五人が新たな学生生活をスタートさせました。同日は、金沢学院東高校でも入学式が行われ、二百四十八人が高校生活の第一歩を踏み出しました。



金沢学院大学の入学生を代表して宣誓を読み上げる北口さん＝第一体育館

学院大・短大で入学式

大学・短大の入学式では、大学の入学生を代表して美術化学部情報デザイン学科の北口加奈子さんが「自分の行動に責任と自覚を持ち、夢に向かって突き進んでいきたい」と、また短大生活デザイン学科の福田玲

夢の実現に努力を

東高校は248人

東高校の入学式では、石

花さんが「勉学や部活動にこそ、新しい可能性を求めたい」とそれぞれ宣誓しました。

石田寛人学長は式辞で、「先人の知識や技だけでなく、魂を引き継ぐことを肝に銘じてほしい。そのため

田毅士郎校長が式辞で「夢や希望の実現に向かって、確かな目標を掲げて努力してほしい」と激励しました。

飛田理事長は告辞で「挨拶する、愛想良くする、汗を

には、社会のルールを尊重し、しっかりとした人間関係を築き、思い切り良く、積極的に、粘り強く生きよ」と学問に臨む心構えを話しました。

学校法人金沢学院の飛田秀一理事長は告辞で「学生の本分は勉強である。一日一日を無駄にせず、しっかりと勉強して、知識と経験を積み上げてほしい」と激励

本学に北國広告賞銅賞

学校法人金沢学院が学園創立六十年目のスタートにあたる平成十七年五月十五日付で北國新聞・富山新聞に掲載した二ページ見開き広告「諸行無常」が「写真下」がこのほど、北國広告賞の銅賞を受賞しました。

本学では「世の中に常に同じものはない」という意味のこの言葉を学園改革の合言葉に、教職員一体で諸課題に取り組んでいます。



政田君に北陸放送社長賞

第六十二回現代美術展に金沢学院大学美術文化学部と美術文化専攻科生、同修了生、教員合わせて十八人が入選しました。このうち三年の政田真吾君が洋画で北陸放送社長賞、専攻科生の山本新司君と修了生の山下晃世さんがともに日本画で北國賞を受賞しました。

現代美術展は四月十九日まで金沢市の金沢21世紀美術館と石川県立美術館で開催されています。

このほかの入選者は次の皆さん。

青木良識、岩永京子（以上洋画）魚津悠、林屋恒平、高田英治、野中彩、齋藤麻里、羽場文彦（以上陶芸）伊藤奈央、本明千怜、中村恵子、上田真喜楽、小林公美、中橋未希子、山内登喜雄（以上日本画）

3氏に「名誉教授」授与

平成十七年度末をもって金沢学院大学を退職した青山克彌図書館長・文学部教授、樋川和伸基礎教育機構教授と木村弘道美術文化学部講師に四月一日付で「名誉教授」の称号が授与されました。

栄養教諭一種免許の認定

金沢学院短期大学食物栄養学科は三月十三日付で、栄養教諭二種免許状を取得できる課程として文部科学省から認定されました。

発行・広報室